

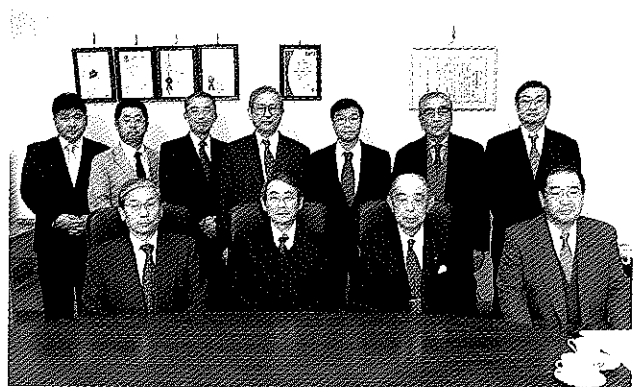
中小企業委員会ユニークメンバー企業見学会を実施

～オンリーワン技術企業および障害者雇用先進企業見学会を実施～

11月17日(火)中小企業委員会では委員会メンバー企業で国際特許を持つ鶴見精機(株)の白河工場と先進的に障害者を雇用している大協製作所(株)の福島工場の見学会を実施した。

見学会には高橋会長、澤田中小企業委員長以下、中小企業委員会委員を中心に12名が参加し、東北新幹線新白河駅に集合。そこからマイクロバスで午前中は鶴見精機(株)白河工場、午後は大協製作所(株)福島工場を訪問・見学した。鶴見精機(株)は1928年創業。海洋計測機器の専門メーカーとして出発。その後海洋観測からさらに深海観測やダム・地下水などの陸上の水質計測まで水に関するあらゆる計測機器を扱うようになっていく。なかでも海の状況に制約を受けることなく航行中にセンサー端末を投下して、海温・電気伝導度・水中音速・密度を計算処理できる同社の画期的システム(XCTDシステム)は国際特許を取得。世界シェア100%のオンリーワン技術となっている。白河工場は1987年に稼働。東北新幹線車内から工場外壁に描かれている同社シンボルマークのシャチを見ることができる。見学では、岩宮会長からも直接ご説明いただき、船および飛行機から投下する2種類のセンサー製造ラインを見学した。工場は製品の性質から、品質管理は厳重をきわめており、出荷まで何重にも製品検査が繰り返されていることに参加者も驚いていた。

一方、大協製作所(株)は1954年創業以来、亜鉛メッキ、電着塗装、吹付塗装、バレル研磨などを行う金属表面処理メーカーとして発展。電気メッキと電着塗装を複合一貫処理できる最新鋭の技術・装置等を積極的に導入し、短納期・高品質を確保している。また全自動化装置の導入等により障害者雇用にも先進的に取り組んでいる。福島工場は1995年に稼働、全従業員中45%の障害者が雇用されている(全社では55%が障害者、現業部門だけでは70%が障害者)。構内には、福島県で最初の福祉就労施設「(株)ワーキングやぶき」も併設。大協製作所から仕事を発注していた。工場を案内してくれた栗原社長(社団法人全国重度障害者雇用事業所協会会長にも就任)からは、障害者雇用や福島進出時の苦労話を伺った。工場内は防錆メーカー



とは思えないほどきれいで整然としていた。

両工場見学後、新白河駅前のホテルで懇親会を行ったが、会長からは今日は特徴ある2社を見学できて本当に勉強になり有意義だったとの挨拶があり、さらに両社についての話などで会は盛り上がった。最後にお世話になった両社に心から感謝いたしたい。